

平成28年9月23日 (金)

北陸中日新聞朝刊 第13面 →

平成28年9月23日 (金)

北國新聞朝刊 第3面



「不動産の日」(九月二十三日)に先立ち、経済アナリストの森永卓郎さんが二十二日、金沢市内のホテルで不動産の活用法をテーマに講演した。民主党政権からアベノミクスまでの経済政策を振り返り、最近の日本経済の動向を解説。東京都内の一部分に所得が集中し、バブル期並みに地価が上昇している現状を紹

9月23日 = 不動産の日

老後に備える活用法  
森永卓郎さんが講演



不動産の活用法をテーマに講演する森永卓郎さん(金沢市内で)

介した。今後の景気と年金制度を見通した上で「自分の家を持つことは大事。余裕があれば不動産で収益を生むよう老後の安定した収入方法としてすすめた。

自身のダイエット経験も踏まえ「暮らしのコストを減らすことも大事。見えを捨てれば楽になる」とも提案し、会場の笑いを誘った。県宅地建物取引業協会が企画した。(佐々木香理)

不動産市場、マクロ経済の動向を解説  
石川県宅建協会で森永氏  
石川県宅地建物取引業協会などの「『不動産の日』ふれ愛講演会」写真は22日、金沢市のホテル金沢で開かれ、経済アナリストで獨協大経済学部教授の森永卓郎氏が不動産市場やマクロ経済の動向を解説し



た。森永氏は今年の上線価で都内の最高価格地点がバブル期と同水準の価格を付けたことに触れて「それだけ聞くとバブル再来の雰囲気はあるが、今回は地価急騰が都心の一部地域に限定されている点で、バブルとは異なる」と指摘した。金沢工大環境・建築学部の川崎寧史教授も講演した。